

# 寝屋川民報

議会版

発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
824-1181  
(内線 2399)  
FAX No. 824-7760  
Email: jcpncc@cc-net.or.jp  
No. 1930

田中 ひさ子  
国松町 10-36  
☎ 823-1714

寺本 とも子  
豊里町 38-1-105  
☎ 829-9424

中林 かずえ  
宝町 4-33  
☎ 839-2289

中谷 光夫  
高宮 155-8  
☎ 823-5947

松尾 信次  
下木田町 12-6  
☎ 821-7427

## 志位和夫委員長が 記念講演をおこないます

5月20・21日「大阪赤旗まつり」が開催されます。  
赤旗まつりは来年の一斉地方選挙と参議院選挙に向けて、党内外の広範な人々が日本と政治について考え、文化・芸術に親しみ交流し、親睦を深める場です。  
別記のように楽しい催しがたくさんあります。おさそいあわせて参加ください。  
尚、貸し切りバスでの参加を希望される方は党議員団までお問い合わせください。

# 楽しい催し物がいっぱい 大阪赤旗まつりに参加を

## 第23回 日本共産党 大阪赤旗まつり

とき: 5月20日・21日  
ところ: 堺市 大泉公園緑地

- (参加協力券)
- 一般の方 2,000円
  - 高校生・大学生・障害者・70歳以上の方 1,000円
  - 中学生以下の方は無料です

### 主な催し物

志位和夫委員長による記念講演／シンポジウム【くらしと憲法】・山家悠紀夫、二宮厚美、寺内順子／いっせい地方選挙候補者勢ぞろい／中国・長城楽団などの演奏、コンサート・ヤスコ、播本晃三、しゅうささこ／日本共産党館／なんでも相談コーナー／青空舞台／うたごえ喫茶／模擬店／全国物産展／大道芸／9条グッズコーナー／青年と子どもの広場／スポーツコーナー／レスキュー犬の広場／その他

### 憲法を守る会

## 憲法9条守ろう 地域で宣伝・署名活動



16日、ねやがわ憲法を守る会は、町別署名宣伝行動を行い、下神田町で、約一六〇世帯と対話し、署名を訴えました。  
「憲法改悪に反対し9条を守り、平和のために生かすことを求める」署名は寝屋川市で二万人近く集まっています。  
9条の会も職場・地域で9つが発足し、五月には「平和のつどい」や「憲法9条平和祭り」が準備されるなど、草の根のとりくみが具体化されようとしています。

寝屋川・枚方・交野地区

## メーデー

とき: 5月1日(月) 午前9時半  
ところ: 初本町公園  
(市立中央小学校東側)

「市民との協働」について考えたいと思います。自治体の行う行政活動に、備が発生した場合に、互いの信頼関係に基づいて、その行政サービスを遂行する上で、市民に協力を求めることは理にかなっています。しかし、それには互いの強い信頼関係がなければならず、この条件のないままに行政サービスを市民に投げかけてしまえば、それは自治体がやるべき仕事を勝手な都合で、市民に負担転嫁しているにすぎないことになってしまいます。▼寝屋川市政をすすめていく上では、その根底にあるべき市民と市役所の信頼関係を回復させなければなりません。そのためには、「行政と異なつた市民の意見をとりたいれない」「行政が決めたことは市民が何を言っても変えない」、お上に従えと言わんばかりの時代錯誤の行政姿勢を見直し、市長にとつて都合の悪いことでも市民の意見を反映するとう当たり前の姿勢をとるべきです。また市民との協働とは市民の自発的な参加、協力であり、行政の公的責任をしっかりと担うことが前提です。

# 「健康都市」でこそ 「元気都市」と言えるはず

新たに策定された高齢者保健福祉計画では、各種がん検診について、〇八年度までの受診目標を10%としています。

従来の計画では〇七年度までに30%を目標にしていたのと比較すれば、大幅なダウンと

## がん検診 受診率 目標が大幅ダウン

がん検診受診率(05年度)

検診名	受診率(%)
子宮がん	9.7
胃がん	5.0
乳がん	6.0
肺がん	5.0
大腸がん	4.7
前立腺がん	21.4

今年度より子宮がん検診は二十歳から対象年齢を引き下げるものの、受診は二年に一回に。乳がん検診も四十歳以上の人は二年に一回にされます。

通常、定期的な検診は年一回程度必要とされており、これを変えすることも問題です。

### 東 萱島 防災街区整備地区計画案 情報公開 住民参加が必要

萱島東地域のうち萱島桜園町など10.2ヘクタールを、防災街区整備地区とするための地区計画の原案が明らかにされ、二十五

日まで市役所で縦覧ができます(市のホームページでも可能)。

計画は木造賃貸住宅の密集地域の防災性と住環境の向上をはかる

ためとしています。また萱島桜園町内の約0.1ヘクタールを防災街区整備地区整備計画として、建築物に対する一定の規制を行うとしています。

萱島東地域で防災や住環境の向上は重要な課題です。



しかしこの地区計画について、①肝心の地元住民には事前の説明や意見聴取がされていないこと、②建てかえにともない、住民が住みつけられるための条件整備が、明らかにされていない、などの問題があります。

#### 議員日誌



松尾 信次

市立あやめ保育所が廃止され、四月より私立あやめ保育園となりました。

「あやめ保育園でひきつづぎと思っていましたが、公立のときと比較し、とても心配で、子どもをあずけられない」などの声が保護者からよせられます。

四月以降、近隣の公立保育所に転所を希望する保護者があいつぎ、五月より十人前後の子どもが転所する見込みと聞きます。

保護者が希望しない民営化の強行によって悩んでおられることに胸が痛みます。

三月市議会代表質問での私の質問にたいし、「保育水準が維持できるよう指導してまいります。しかしながら基本的には事業主の責任においてなされるべきことと理解しております」と市長は答弁しました。

民営化を一方的にすすめる、保育水準の維持に責任をもとうとしない、このような市の姿勢こそ大きな問題です。

私はあやめ保育園関係者の皆さんの意見をきき、実態を把握して、保育水準を維持させるため継続してとりくみたいと思います。

そして、これ以上公立保育所の民営化しないことを強く求めていきたいと思っております。